

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2022年10月27日

2. 認定事業適応事業者の名称

九州電力株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

九州電力グループは、低炭素で持続可能な社会の実現に向けて、再生可能エネルギー・原子力の活用による電源の低・脱炭素化や電化を推進することにより、2030年度に「国内事業におけるサプライチェーン GHG 排出量（Scope1+2+3）を2013年度対比65%削減」、2050年度に「サプライチェーン GHG 排出量（Scope1+2+3）を実質ゼロ」とすることを目指す。

また、カーボンニュートラルをはじめとした経営環境の変化を変革のチャンスと捉え、更なる企業成長につなげ、引き続き、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指す。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2026年度において、基準値（2021年度）より従業員一人あたりの付加価値額を6%以上上昇させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2026年度において、経常収支比率を100%以上とすることを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

電気業（33）

全社的にCO2排出量を削減する計画である中で、九州電力が本業とする電気業を選択。

(6) 事業適応の具体的内容

「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」のもと、エネルギー需給両面の取組の2つの柱として、「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」を掲げている。

2050年のゴールに向けて、特に2030年までが極めて重要であると捉え、再エネの主力電源化や原子力の最大限の活用、火力発電所の低炭素化及び新技術開発、送配電ネットワークの高度化、電化の推進に取り組む。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2022年10月

終了時期：2033年3月

(8) 認証を受けた外部評価機関

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社